



信金中央金庫

SCB SHINKIN CENTRAL BANK

地域・中小企業研究所

ニュース&トピックス No. 2021-89

(2022. 3. 17)

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-7 TEL. 03-5202-7671 FAX. 03-3278-7048
URL <https://www.scbri.jp> e-mail : s1000790@FaceToFace.ne.jp

最近の新卒・中途採用の動向について

とね かずゆき
刀禰 和之

ポイント

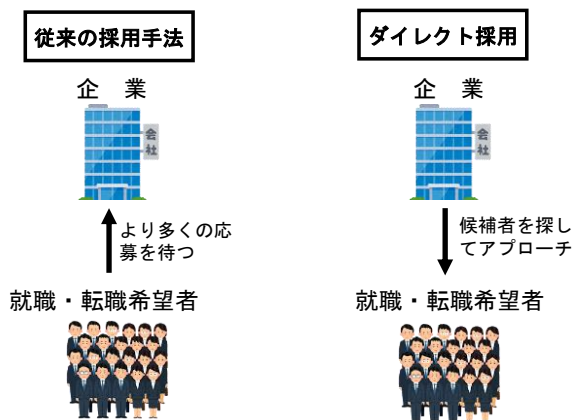
- 若年人口の減少や産業構造の転換が加速するなか、企業が採用したい候補者に直接アプローチする「ダイレクト採用」が中途採用市場だけでなく、新卒採用市場にも拡大しつつある。
- また、コロナ禍により従来型の採用面接が難しくなるなか、情報収集の一環として社員クチコミ情報を活用する就職・転職希望者が増えている。
- オープンワーク株式会社は、6万社・1,250万件以上の社員クチコミ情報を蓄積・スコア化し、就職・転職希望者に提供する。また同社は独自技術を用いたダイレクト採用にも力を入れている。
- これまで信用金庫は、地縁人縁による新卒・中途採用に強みを有したが、今後は多様な採用手法についても検討していく必要がある。

1. ダイレクト採用の概要

(1) 仕組み

近年の採用動向を概観すると、第一に「ダイレクト採用」の普及がみられる¹。一般に企業が実施する採用手法は、より多くの就職・転職希望者を募り、その中から候補者を絞っていくスタイルとされる。一方、ダイレクト採用は企業が自ら候補者を探し直接アプローチする採用スタイルとなる(図表1)。

(図表1) ダイレクト採用のイメージ



(備考) 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

ダイレクト採用は、就職・転職サイトに登録する就職・転職希望者の中から条件に見合った候補者をピックアップし、同サイトの運営企業経由でスカウトメールを送るケースが多い。また、候補者を絞った採用スタイルのため大量採用に向かず、専門家人材などの中途採用に適すると言われる。

(2) 普及状況

中途採用市場を中心に金融機関の間でもダイレクト採用は拡大している。金融機関はDX対応などのビジネスモデル再構築が急務であり、自行庫内に不足する専門家人材を外部から取り込みたいとの考えが強まってきた。この流れは、新卒採用にも広がり始め、特に専門職などのコース別人事制度を導入する大手金融機関で顕著である。

そのため今後は、大手金融機関などから従来型の大量採用と専門家人材に絞ったダイレクト採用を組み合わせた採用手法が普及していくと予想される。これは中途採用市場だけでなく、新卒採用市場でも同様と予想される。

¹ ダイレクトリクルーティング等の呼び方もある。

2. 社員クチコミ情報の概要

(1) 仕組み

新卒・中途採用を取り巻くもう一つの動向が就職・転職希望者の間で社員クチコミ情報による情報収集の定着である。社員クチコミ情報とは、会社説明会などでは聞くことのできない社員（元社員を含む）の生の声を集めたサイトである。就職・転職希望者は、よりリアルな企業風土などを知ることができ、入社後のミスマッチを防ぐ効果があるとされる。

(2) 普及状況

既に就職活動時の情報源として、社員クチコミ情報の利用は定着している。この傾向はコロナ禍による採用面接の減少などを受け、さらに強まりつつある。なお、同サイト最大手となる「OpenWork」に登録する2022年3月卒業予定の就活生だけをみても、約25万人に達する程である²。

3. オープンワーク株式会社について

(1) 概要

本稿では参考までに就職・転職のためのジョブマーケット・プラットフォーム「OpenWork」を運営するオープンワーク株式会社を紹介する（図表2）。

（図表2）会社概要

会社名	オープンワーク株式会社
事業内容	転職・就職のための情報プラットフォーム「OpenWork」の開発・運用業務
設立	2007年6月
所在地	東京都渋谷区渋谷
サイト	https://www.vorkers.com/

（備考）2022年2月現在

社員クチコミサイト「OpenWork」には、6万社・1,250万件以上の情報が蓄積されており、また就職・転職希望の登録会員数も約465万人（2022年2月時点）に達する。同サイトの特徴

² 2022年3月卒業予定の就活生は50万人程度とされるので、2人に1人が同サイトに登録（利用）していると考えられる。

は、単に社員クチコミ情報を掲載するだけでなく、待遇面や士気、風通しの良さなどの8項目を分析・スコア化する点である。スコア上位の企業ほど働き甲斐が高く、組織体制・企業文化に関する社員クチコミは2～3年後の企業業績とも相関関係があることが研究で明らかにされている。そのため、就職・転職希望者の同社スコアの利用は拡大方向にある。

なお、同社では、①登録は実名（※）＋認証による本人確認と会員登録、②機械によるデータチェック＋社員の目視チェックなどを導入し、社員クチコミ情報の品質の担保に努めている（※クチコミ情報は匿名で掲載される）。

(2) ダイレクト採用の提供

同社はダイレクト採用「OpenWork リクルーティング」を提供しており、2021年12月には契約企業数が1,500社を突破した。

同社はスコア上位企業との契約に熱心で、実際、スコア上位3%の企業で求人5割を占める程である。この理由には、スコア上位企業ほど、就職・転職希望者の関心も強く、結果として成約率の上昇が見込めるためである（同社は成約時に報酬を得る）。

4. 信用金庫への示唆

信用金庫の2021年度の新規採用者数は5,211人と推計され、直近の10年間は5,000人台前半で推移している³。

これまで信用金庫は地縁人縁に強みを有し、顔の見える採用に力を入れてきた。しかしながら、若年人口の急速な減少に加え、金融機関の就職人気の低下などもあり、今後の採用活動はさらなる苦戦が予想される。

そのため、今後は幅広い採用手法についても検討していく必要があると考えられる。専門家人材の中途採用の募集についても、門戸を開いておくことが必要ではないか。以上

³ 2021年4月末常勤職員数－2021年3月末常勤職員数で算出した。